

2-6 えどがわ環境財団

えどがわ環境財団は、江戸川区の施策に基づき緑の文化都市を実現し区民生活の向上と人間性の回復に寄与するため、昭和 55 年に江戸川区の外郭団体として設立された「財団法人江戸川区環境促進事業団」を前身とします。

その後、平成 23 年に公益法人制度改革に対応し、「公益財団法人えどがわ環境財団」へと名称変更を行い、緑化推進や動物とのふれあいに関する事業を行ってきたところです。

当財団が今日まで取り組んでいる各事業は、様々な世代のニーズをとらえながら、より公益的な自然環境分野の役割を担う団体として、江戸川区みどりの将来像でもある「水・緑、ともに生きる豊かな暮らし」の実現に向け、今後も区民と共に、我がまちを誇りに思い愛着が持てる公益的取組みを進めます。

区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

(1) 花とみどりの環境学習

江戸川区のみどりの歴史や現在から未来の私たちをテーマに小学生向けに解説した冊子、「花とみどりと私たち」を使用した環境学習を学校や地域で実施しています。また、花と緑を楽しみながら学べる講習会を行い、区内の花と緑のまちづくりを推進しています。

令和4年度は小学校2校、中学校1校、すくすくスクール1校で実施しました。また、環境教育冊子「花とみどりと私たち」は、学校や町会自治会をはじめ各種団体などにこれまで5,344冊を配布し活用しています。



(2) ウェルカムガーデン活動

花と緑を「活かす・育てる・楽しむ」活動を学校や地域で実施しています。また、家庭や町ぐるみでの“花いっぱい運動”の促進と地域の「ながら見守り」活動との連携をさらに推進するために、ガイドブックと見守りプレートを配布し、区民と協働で活動を進めています。

令和4年度も、小学校やすくすくスクールで児童らが継続して取り組み、これまで27校・8事業所・4町会が活動を進めています。

また、活動を推進するためのガイドブック4,096冊、プレート3,770枚を地域団体や学校へ配布しました。



(3) ひまわり de 元気と笑顔プロジェクト

江戸川区の夏の風物詩として、ひまわりの種子配布及び展示を行い、区民と協働して育てたひまわりで、花のまち(名所)づくりを区内外へ広めました。

<ひまわりの種子配布>

【期間】5月10日(火)から順次発送



【場所】児童施設・福祉施設・医療機関等 394 施設、66 個人

【数量】4,600 粒

< 葛西臨海公園内のひまわり展示 >

【期間】7月15日(月)~9月11日(日)

【場所】都立葛西臨海公園

(展示期間中の来園者数: 463,000 人)

【内容】ひまわりの育成及び園内の展示

(プランター 200 基、400 株)



(4) 緑の3R推進活動(リデュース・リユース・リサイクル)

家庭で不要になった区民の植木鉢や園芸用土を回収し、再利用する取り組みを行い、緑のもったいない運動の啓発と環境保全事業を行っています。

< 令和4年度実績 >

	受 入		再利用 数 量
	受入件数	数 量	
園芸土	88 件	6,006L	5,460L
植木鉢等	23 件	527 個	75 個



(5) 平井わかばと花工房の利活用

平井第二小学校校庭跡地の一部を苗圃として、緑化啓発用の草花・苗木を区民と協働で育成し、緑化推進を図っています。

令和4年度は、区民ボランティアと草花の栽培や園芸土の再生、公園落ち葉の腐葉土づくりなどを行いました。



水と緑・花のシティプロモーション事業

「水と緑・花のまち・えどがわ」を区内外へ広くPRするために、区内専門学校生と協働してポスターを制作しています。区内の主要駅及び施設等で紹介するなど、魅力ある「花とみどりのまち・えどがわ」を多くの方へ伝えていきます。

また、JR 東日本と連携した「駅からハイキング」の企画・運営を行うとともに、桜ガイドブック「ぶらりえどがわ桜旅」を刊行し、「水と緑・花のまちえどがわ」を区内外へ発信しました。



【掲示場所】JR 総武線 小岩駅、新小岩駅、平井駅
 都営新宿線 瑞江駅、船堀駅
 東京メトロ東西線 葛西駅、西葛西駅
 京成本線 京成小岩駅
 区民施設タワーホール船堀等 24 箇所

花の名所ポスター



駅からハイキングコースマップ



桜ガイドブック

動物の飼育及びふれあい事業

< 自然動物園 >

区民が身近に、自然を感じ、動物たちとふれあえる機会を提供するため、自然動物園を運営しています。 令和5年4月現在 動物数：58種610点

(1) 自然動物園の展示・ふれあい業務

動物との距離が近い展示や、動物と直接触れることの出来るふれあいコーナーにより、命の尊さや自然との共生について、五感で体験できる機会を提供しています。



ふれあいコーナー（園内）



動物展示（オタリア）

(2) 自然動物園の出張動物

区民まつりをはじめ、区内各地区の地域まつりへ、ヤギ、ヒツジ、ニワトリ、モルモット等の「ふれあい動物コーナー」を出張し、動物とのふれあいを体験する機会を提供すると共に、自然動物園のPRに努めています。



区民まつりでの「ふれあい動物コーナー」の様子

<ポニーランド>

ポニー乗馬及び馬車を運営し、都会ではあじわうことのできない大型動物とのふれあい体験を実施しています。

保有馬

篠崎ポニーランド ポニー10頭

なぎさポニーランド ポニー8頭

(1) ポニー乗馬・馬車体験



なぎさポニーランドではヤギを飼育し、家畜としての役割、命の大切さ等を学べる機会を提供しています。

保有数

なぎさポニーランド ヤギ2頭



ふれあいコーナー

(2) ポニーランドの出張乗馬

区民まつりをはじめ、区内各区の地域まつり・保育園等に出向き、ポニー乗馬の体験を提供しています。また、区内の公園にも出張し、ポニー乗馬を体験する機会の提供と共に、ポニーランドのPRに努めています。



移動ポニーランド

地域イベント 4箇所(6回)

保育園 10園

移動ポニーランド 5箇所

実施しました。

教育普及事業

体験教室・講座講習会・啓発イベント、学校連携を通じ、動物の魅力や生命の大切さ等を学ぶを教育普及に努めています。

< 自然動物園 >

(1) 体験教室・講座講習会

小学校生活科出張授業

16 校実施

ヒツジの毛刈りショー

SNS にてライブ配信

飼育体験サマースクール

1 回 (4 日間) 実施

親子一日飼育体験教室

4 回実施

動物園のうらがわ探検

1 回実施

動物出張授業

4 回実施

動物飼育指導

2 校実施



動物園のうらがわ探検



小学校での生活科出張授業

(2) 研修支援・人材育成の受入れ

職場訪問(小中高学生) 3校 17人受入れ

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
チャレンジ・ザ・ドリーム、飼育実習生の受入れ中止。

<ポニーランド>

(1) 体験教室・講座講習会

サマースクール 「子供コース」 4回実施

「親子コース」 4回実施

装蹄師のおはなし 2回実施

障害者乗馬

障害者の体験乗馬を運営し、障害の有無にかかわらず、馬に親しめる
環境を提供しています。

- 1 体験会 12回実施

- 2 障害者乗馬スクール 3クール79日間実施



障害者乗馬

小学校生活科出張授業 22校実施

ポニーを活用した小学校での生活科授業は学校と連携を図り、実施し
ています。

(2) 研修支援・人材育成の受入れ

飼育実習生(高校・専門・大学生) 3校3名受入れ

職場体験(小中学生・高校生) 1名受入れ

チャレンジザ・ドリーム 10校12名受入れ

種の保全・調査研究事業

地球環境保全・動物の生態系保全に貢献することを目的に、動物園で保有する動物の生態等の調査研究や絶滅危惧種や希少種等の保全のための取組みを、関係機関や大学等と連携し行っています。また、その成果を広く来園者等に周知しています。

種の保存

フンボルトペンギン等7種類の希少動物等を飼育・繁殖しています。



ワタボウシタマリン

調査研究

希少種ホウシャガメの繁殖システム解明について調査研究しています。



ホウシャガメ